

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【公開番号】特開2008-225921(P2008-225921A)

【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2007-64125(P2007-64125)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 L

G 06 F 3/12 D

B 41 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月12日(2010.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の印刷装置と通信可能な情報処理装置であって、

複数の差し込みデータを先頭から順次取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された差し込みデータの内容に基づいて、前記差し込みデータを第1または第2の記憶領域へ分類する分類手段と、

前記分類手段により第1または第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて出力データを生成する生成手段と、

前記生成手段により第1の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第1の記憶領域に関連付けられた第1の印刷装置へ送信し、前記生成手段により第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第2の記憶領域に関連付けられた第2の印刷装置へ送信する送信手段と、

前記分類手段により第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が第1条件の数より多い場合、前記第2の記憶領域に分類される差し込みデータが前記取得手段により取得されるように前記複数の差し込みデータの取得順を変更する変更手段と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記生成手段は、前記分類手段により第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が前記第1条件の数より少ない第2条件の数に達したことにより前記第1の記憶領域に分類された差し込みデータに基づく出力データを生成することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記生成手段による前記出力データの生成処理と前記分類手段による分類処理とが並行して実行されることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

複数の印刷装置と通信可能な情報処理装置における情報処理方法であって、

複数の差し込みデータを先頭から順次取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された差し込みデータの内容に基づいて、前記差し込みデータを第1または第2の記憶領域へ分類する分類ステップと、

前記分類ステップにより第1または第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて出力データを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより第1の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第1の記憶領域に関連付けられた第1の印刷装置へ送信し、前記生成ステップにより第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第2の記憶領域に関連付けられた第2の印刷装置へ送信する送信ステップと、

前記分類ステップにより第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が第1条件の数より多い場合、前記第2の記憶領域に分類される差し込みデータが前記取得ステップにより取得されるように前記複数の差し込みデータの取得順を変更する変更ステップと、を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項5】

前記生成ステップは、前記分類ステップにより第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が前記第1条件の数より少ない第2条件の数に達したことにより前記第1の記憶領域に分類された差し込みデータに基づく出力データを生成することを特徴とする請求項4に記載の情報処理方法。

【請求項6】

前記生成ステップによる前記出力データの生成処理と前記分類ステップによる分類処理とが並行して実行されることを特徴とする請求項5に記載の情報処理方法。

【請求項7】

複数の印刷装置と通信可能な情報処理装置における情報処理方法をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムであって、

複数の差し込みデータを先頭から順次取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得された差し込みデータの内容に基づいて、前記差し込みデータを第1または第2の記憶領域へ分類する分類ステップと、

前記分類ステップにより第1または第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて出力データを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより第1の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第1の記憶領域に関連付けられた第1の印刷装置へ送信するための処理を行い、前記生成ステップにより第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第2の記憶領域に関連付けられた第2の印刷装置へ送信するための処理を行う送信ステップと、

前記分類ステップにより第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が第1条件の数より多い場合、前記第2の記憶領域に分類される差し込みデータが前記取得ステップにより取得されるように前記複数の差し込みデータの取得順を変更する変更ステップと、をコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の情報処理装置は、複数の印刷装置と通信可能な情報処理装置であって、複数の差し込みデータを先頭から順次取得する取得手段と、前記取得手段により取得された差し込みデータの内容に基づいて、前記差し込みデータを第1または第2の記憶領域へ分類する分類手段と、前記分類手段により第1または第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて出力データを生成する生成手段と、前記生成手段により第1の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第1の記憶領域に關

連付けられた第1の印刷装置へ送信し、前記生成手段により第2の記憶領域へ分類された差し込みデータに基づいて生成された前記出力データを前記第2の記憶領域に関連付けられた第2の印刷装置へ送信する送信手段と、前記分類手段により第1の記憶領域に分類された差し込みデータの数が第1条件の数より多い場合、前記第2の記憶領域に分類される差し込みデータが前記取得手段により取得されるように前記複数の差し込みデータの取得順を変更する変更手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

次に、ステップS904において、VDPジョブ生成モジュール403は、データベースモジュール405を経由して取得した分類済み差し込みテーブル群407から、分類済み差し込みデータ群を1つ取得する。この処理は、例えば図8の分類済み指し込みテーブル701から、分類済み指し込みデータ群である「赤沼 神奈川県」を取得する処理に該当する。

次に、ステップS905において、VDPジョブ生成モジュール403は、ステップS904で取得した分類済み差し込みデータと、ステップS901で作成されたVDPドキュメント500とを用いて印刷ジョブを作成する。

図12は、VDPドキュメントと印刷ジョブとの関係の一例を概念的に示した図である。VDPジョブ生成モジュール403は、VDPドキュメント500の差し込み領域503、504に関連付けられている差し込みデータの種類505、506と対応する差し込みデータ406aを、差し込み領域503、504に描画オブジェクトとして貼り付ける。これにより、印刷ジョブ1201が生成される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

次に、ステップS909において、VDPジョブマネージャ404は、VDPジョブ生成モジュール403から取得した印刷ジョブ1201を、ステップS908で決定した分散印刷システム103に送信する。

次に、ステップS910において、VDPジョブ生成モジュール403は、ステップS903で取得した分類済み差し込みテーブル701、702から、全ての分類済み差し込みデータ群を取得したか否かを判定する。この判定の結果、全ての分類済み差し込みデータ群を取得していない場合には、まだ取得していない分類済み差し込みデータに対して、ステップS904以降の処理を行う。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

図14のフローチャートを参照しながら、VDPシステム101のVDPコンピュータ301が印刷処理中に分類済み差し込みデータを更新する処理の一例について説明する。

まず、ステップS1201において、キューマネージャ409は、分散印刷システム103内の分散印刷ジョブマネージャ204から、印刷が終了した印刷ジョブ1201の印刷ジョブ識別子を受信したか否かを判定する。この判定の結果、印刷が終了した印刷ジョ

ブ1201の印刷ジョブ識別子を受信していない場合には、印刷処理中に分類済み差し込みデータを更新する処理を終了する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

一方、印刷完了フラグがオフの分類済み差し込みデータの数に、一定数以上の差がある場合には、ステップS1206に進む。ステップS1206に進むと、キューマネージャ409は、データベースモジュール405を経由して、一定数以上の差がある全ての分類済み差し込みテーブル701、702を取得する。そして、キューマネージャ409は、印刷完了フラグがオフの分類済み差し込みデータの数が相対的に多い分類済み差し込みテーブルから、相対的に少ない分類済み差し込みテーブルに、印刷完了フラグがオフの分類済み差し込みデータを移動する。そして、印刷処理中に分類済み差し込みデータを更新する処理を終了する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

一方、差し込みデータがコピーされる分類済み差し込みテーブルが、分類済み差し込みテーブル群407に既に存在する場合には、ステップS1305を省略してステップS1306に進む。

ステップS1306に進むと、キューマネージャ409は、ステップS1303で決定した分類済み差し込みテーブルに、ステップS1302で取得した差し込みデータを追加する。

次に、ステップS1307において、キューマネージャ409は、データベースモジュール405を経由して、ステップS1306で追加した差し込みデータの印刷完了フラグをOFFに設定すると共に、印刷ジョブ識別子を空欄に設定する(図8を参照)。

なお、本実施形態では、複数の差し込みデータを複数の分類済み差し込みテーブルへ分類しているが、分類対象が差し込みデータに限られる必要はない。例えば、印刷ジョブであっても構わない。よって、分類対象は印刷に使用される印刷用データであれば良い。

また、前述したように、分類済み差し込みデータが分類済み差し込みテーブルに登録されると、対応表901によって、分類済み差し込みデータと、その分類済み差し込みデータの送信先となる分散印刷システム103(又はプリンタ203)とが関連付けられる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

次に、ステップS1709において、キューマネージャ409は、データベースモジュール405を経由して、ステップS1704で決定した分類済み差し込みテーブルに追加した分類済み差し込みデータの数を取得する。

次に、ステップS1710において、キューマネージャ409は、追加した分類済み差し込みデータの数が一定数(予め定められた数)以上か否かを判定する。このとき、本実施形態において、キューマネージャ409は、同一の分類済み差し込みテーブルに追加した差し込みデータの数が一定数以上か否かを判定する(すなわち、分類済み差し込みデータの数が一定数以上か否かを判定する)。

タ数が一定数以上か否かを、分類済み差し込みテーブル毎に判定する)。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

ステップS1914に進むと、キューマネージャ409は、読み飛ばしカウンタの値が「0」であり、且つ、既に分類(処理)した差し込みデータの数が一定数以上であるか否かを判定する。なお、読み飛ばしカウンタの値が「0」である場合、キューマネージャ409は読み飛ばし処理を実行していないこととなる。ステップS1914の判定の結果、読み飛ばしカウンタの値が「0」であり、且つ、既に分類した差し込みデータの数が一定数以上である場合には、ステップS1915に進む。

ステップS1915に進むと、キューマネージャ409は、読み飛ばしカウンタの値に、データ取得カウンタの値を代入する。そして、キューマネージャ409は、現状のデータ取得カウンタの値を一定数増やす。そして、後述するステップS1916に進む。